

国鉄「分割・民営化」阻止、三里塚二期着工粉碎！

またも津田沼で電車に謀略「ビラ貼り」

動労革マル＝当局一体の卑劣な組織破壊攻撃を弾劾す！

いかなる介入・弾圧も許さず 3・24へ総決起するぞ

3月17日未明、またもや津田沼電車区構内の電車4本に何者かによる「ビラ貼り」が行われた。昨年5月に続いて再び発生した謀略ビラ貼り「事件」は、「カーテン」問題を利用した当局―動労「本部」革マル一体となった管理体制強化ひきだしの攻撃。動労千葉津田沼支部と国労津電分会の組織破壊を狙った悪質きわまりない攻撃である。われわれは、革マル反動分子の謀略的手の攻撃と、それをテコとした権力・当局のいかなる介入・弾圧も許さず、断固として反撃に起つ決意をあらためて明らかにするものである。

国労津電分会が「謀略」ビラ貼り 弾劾の声明

3月17日未明、津田沼電車区構内の電留線18、19、21、22番線に留置中の電車4本に、約千枚のビラが貼られた。
このビラは「国鉄の『分割・民営化』反対ノロカル線公共交通を守れ」など8種類のスローガンが書かれ、国労が統一的に作成したものを使っている。

3月18日、国労津電分会は、このビラ貼り行為について、国労分会ならびに国労分会員による行動ではないことを表明すると同時に、「国労ビラを悪用し、あたかも国労の行動であるか」に装ったこの行為は、「国労運動に対する挑戦であり、国労の名誉にかけて強く抗議する」との緊急抗議声明を発表した。

管理体制の強化ひき出しを狙った、 前回と同様のファシスト的的手法

当局は「ビラ貼り電車」4本のうち、2本について予備と交換したものの、初電と2番電車の2本が早朝の総武線を一往復したことで本社、ならびに千鉄局から厳しく管理責任を追及され、労働組合への責任転嫁と弾圧の機会を狙っている。

こうした謀略「ビラ貼り事件」は、昨年の5月1日未明にも発生しており、7本の電車に国労名のビラ約千枚が貼られた。そして「事件」を契機に、当局は「津田沼電車区の誰かがやった」として弾圧を策す一方、「職場規律の確立」なる様々な攻撃を開始したのだ。

まさに、今回の「ビラ貼り」も、前回と全く同じ手口で当局の弾圧と、管理体制強化ひき出しを狙った悪質なファシスト的的手法であり、断じて許すことはできない。

「カーテン」問題と連動した
動労千葉・国労 破壊を許すな

津田沼電車区は、わが動労千葉と国労分会の労働者が当局の攻撃をはね返して闘いぬいている戦闘的職場であり、本社が「特定職場」「問題職場」の一つに指定して直轄支配している闘いの拠点である。

当局は、こうした拠点をつぶすために様々な攻撃をくり返してきた。そして、そのやり方は常に動労「本部」革マルが手先となつて「事件」を起し、デマも含めて本社にタレコムという一貫した攻撃パターンをとっている。81年「6・12」デッチあげ告訴、そして昨年「5・1」全く同じ手口の謀略ビラ貼り事件、等々がそれである。

現在、津田沼電車区では、2月28日に起きた「背面カーテンの開閉」をめぐる動労中野支部と国労津電分会組合員の口論を契機とした動労中野支部の反動分子Ⅱ内田・上田らの「暴力をふるわれた」なるデッチあげタレコミを口実として本社が監査に入り、処分を策動する一方、「カーテン3枚全部開ける」なる管理体制強化にのりだし、われわれが不屈に闘いを続けている最中である。

こうした事態は「60・3」闘争に全国で唯一実力決起し、3・24三里塚への5割決起の実現にむけ意気軒昂として闘いぬいている動労千葉、そして力強く前進している国労共闘に対するあせりかられた攻撃にはかならない。

まさに、今回の謀略「ビラ貼り」は「カーテン」問題と連動した動労「本部」革マルによる組織破壊攻撃であることは明白である。

津田沼支部は直ちに抗議声明を発し、潜入革マル分子Ⅱ嶋田・海宝らを弾劾・一掃し、いかなる介入をもはねのけ、3・24三里塚への5割動員を実現する決意を明らかにした。

津田沼支部を先頭に、3・24三里塚への総決起で、当局―動労「本部」革マル一体となつた「過員」「管理体制強化」攻撃Ⅱ組織破壊攻撃を粉碎し、動労革マル追放・一掃にむけ前進することを宣言する。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！